1/9 (2)

190

(2)

◎古賀氏の名譽

過般長崎水產共進會に於て古賀辰四郎氏の出品に係る眞珠其他の海產物いづれも授賞の選に入り特に皇太子殿下御買上の光榮を荷たる旨は當時の紙上に記載したる如くなるが猶ほ氏は該產物に對する功績の尋常ならざる曩きを以て外に功勞銀杯を授與せられたり其賞狀の全文左の如し

銀杯　　沖繩縣那覇區

古賀辰四郎

夙に心を沖繩群島の殖產に盡し鋭意海產物の捕獲及び輸出を經營し八重山島の漁業を開發し又無人の尖閣列島に探險を試み魚介の捕獲水禽の剝製等に力め專ら移住の先導を爲す其間刻苦經營多年洵に一日の如し其功績賞揚すべし仍て玆に之を賞す

斯くて長崎商業會議所にては出品物の種類に依り優良なるものに對し紀念として額緣を寄贈したるが古賀氏も亦其選に與かりたり今其の寄贈目錄の全文を左に掲ぐ

一、額緣　　壹個

今回第二回關西九州府縣聯合水產共進會へ貴下御出品の鱶鰭は現今我水產輸出貿易品中最も顯著なる發達進步を爲し爲めに國家の利益する所甚だ大なりとす之れ全く貴下及び當業者諸氏の斯業に忠實奮勵せらるゝの結果たらずんばあらず因て當會議所は將來之が奬勵の一端として一等受賞者なる貴下に對し玆に前記目錄の物品を贈呈す

長崎商業會議所

會頭　永見寬二

明治四十年

十二月一日

古賀辰四郎殿

1908年01月09日